

## 第 191 回ペン川柳（お題＝水）令和 2 年 4 月 28 日

世話人：塚田 實（<sup>だ</sup>々）

4 月も全員の投句会を実施しました。

（\*印は今月の互選七句、\*は最優秀二句）

- \* 1. 怖いものコロナ洪水小池知事（零門＝松谷）→ 4 票  
コロナウィルスも怖いですが、昨年の洪水も怖かったですね。最近ではコロナ対策で小池知事が安倍内閣と対峙しています。堂々としていて、先の総選挙での落ち込みから回復しつつあるように見えます。優秀句に選ばれました。
- 2. 水団（すいとん）を食べて育てて今も生き（酪帝＝曾山）→ 1 票  
戦中・戦後は食糧難で白いお米は食べられず、水団で飢えを偲んだようです。この頃育った人は苦しかったけれども逞しいといいます。飽食の時代に生きた若者は大丈夫でしょうか。
- 3. 香水と色気に惑（まど）い丸裸（拿々＝塚田）→ 3 票  
シャネルの香水の匂いにくらくらしました。更に色気たっぷりに迫られると、足はつつい銀座に向いていました。投資に結果が伴わなかったのは残念です。夢のお話です。
- 4. 水商売伏兵に泣く歌舞伎町（晃二＝安藤）→ 3 票  
歌舞伎町の飲み屋さんは営業にならず、今は殆ど閉めているように聞きます。特に「接待を伴う飲食業」は自粛対象になっています。コロナが終息し、歌舞伎町らしい賑わいを早く取り戻してほしいですね。
- 5. 水ぬるむ酒も爛せず呑む頃か（不言＝岩崎）→ 1 票  
綺麗な川柳だと思います。お酒も常温か冷酒が美味しい季節になりました。外出自粛で、少し早めに一人で酒を飲みながら、無聊を慰めることが多くなったのではないのでしょうか。
- 6. 初プール赤子お漏らし水温む（火酒＝三春）→ 2 票  
可愛いですね。作者は実体験ではないと念を押しています。NHKの「チョコちゃんに叱られる！」で「プールで目が赤くなるのは、おしっこのせい」と言っていました。アメリカの水泳オリンピック選手も、したことあると堂々と言っていました。
- 7. 天神の屋台たためは水臭い（安兵衛＝山縣）→ 0 票  
福岡の天神の屋台は有名です。外出自粛で客が減り、暫く休業せざるをえないという店が多いと聞いています。屋台文化は日本人らしい食文化で、雰囲気は何とも言えず良いですね。再びの賑わいが待ち遠しいです。
- \* 8. 死に水に角を垂らせという親父（明迷＝八木）→ 4 票  
ウィスキーで昔からある高級酒は山崎や響ですが、字余りなので止む無く「角」を選んだそうです。若い頃は角でも充分高級でした。でも死に水にウィスキーを垂らすとびっくりして起き上がるかもしれませんね。

9. 想い人水を向けても知らん顔 (酔深＝平尾) → 1票  
これは寂しいですね。いくら仕掛けを準備しても、彼女は応えてくれないのですね。でもこれも彼女の手練手管の一つかもしれませんよ。諦めず頑張りましょう。
10. 美女じゃない水がしたたる我が天井 (井波＝稲宮) → 2票  
この話本当ですか。そんなことはないと思います。作者はその後ウォーキング中「花街では水揚げ夜伽夢うつつ」という句を思いついたそうです。イレブン・ピーエムの安藤さんが、そんな話をしていたとのこと。
11. 生命の水日々飲み続けウン十年 (我々好＝浜田) → 1票  
ゲール語でウィスキーは「生命の水」だそうです。いずれにしてもお酒ですね。日々飲み続けても適度であれば、健康水だと思いますが、これは呑み助の勝手な解釈かな。
12. 水割りの杯を重ねて手が震え (酔雅＝西川) → 0票  
家に閉じこもるとついついお酒に手が伸びてしまいますが、飲みすぎなければ大丈夫です。どこか発散するところが無ければ耐えられませんよね。
13. ああ呑んだまだ呑みたいが水ぶくれ (酩帝＝曾山) → 0票  
水ぶくれまで飲むのは大変ですね。本当の呑み助は、アルコール度数の高い酒に移ってゆきます。でもビールを飲み続ける人もいますね。
- \* 14. 雲水はどんな水かと孫が聞く (拿々＝塚田) → 5票  
孫と禅の修行僧の話をしたときに、雲水のことが話題になりました。話は「行雲流水」の話から、「おくのほそ道」の出だしの「月日は百代の過客にして、……」にまで及びました。孫の歳も考えない馬鹿な爺ですね。
15. 酒臭い嫌がる奴ほど水臭い (損得＝細谷) → 3票  
酒を飲まない人には酒飲みの気持は分からないのでしょうか。「臭い」が二つ重なる仕掛けは面白いですね。
16. 接待に水を差したかコロナ熱 (だし＝大野) → 0票  
現役の時仕事の片付けもあったので、今と違って会食は午後7時開始というのが多かったです。それが今アルコールの提供は7時までと言われると、会食になりませんよね。接待も自粛でお店は大変だと思います。
17. 澱む水そろそろ政府も浄化せな (不言＝岩崎) → 3票  
新型コロナウイルス問題対策など、最近の諸課題に対する政府の対応の遅れには不満を持つ人が多いのではないのでしょうか。嘆きともいえる呟きですね。最後の「せな」が効果的に響いています。
18. あの恋が水に流せずこうなった (明迷＝八木) → 4票  
作者は最初「あの店は水に流した恋がある」と浮かんだそうですが、ちょっと格好良すぎるかなと、この句に変えたそうです。きっと受けたと思います。作者は8番も優秀句資格の4票獲得、過去より未来と、8番を優秀句に選びました。

19. 近づけばコロナが阻み水をさす (酔深=平尾) → 2票  
三密を避けろと言われても、恋人たちはどうすれば良いのでしょうか。乗り越えるしかないですね。作者は与謝野晶子の歌を引いて「柔肌の熱き血潮に触れもみで寂しからずや道を説く君」と言っています。
20. 水をのめむかし百姓いまランナー (零門=松谷) → 2票  
確かに昔「水呑百姓」と言いましたね。ランナーは水を飲まないように言われています。今や給水が重要なポイントになっています。それも単なる水ではなく、工夫を凝らしたドリンクだそうです。
21. 水垢のごとき思い出身に纏い (我々好=浜田) → 3票  
水道水も長い間使っていると、いつの間にか内容物がどこかに沈殿・付着するのですね。「身に纏い」とは深いですね。思わず自分の人生を振り返ってみました。
22. 水を向け向けられすまじ宮仕え (晃二=安藤) → 0票  
作者によると、これはサラリーマンの職場での探り、探られの複雑なコミュニケーションを詠んだ句だそうです。「すまじきものは宮仕え」からヒントを得たとのこと。
23. コロナ禍の冷水浴びて街閑ずか (安兵衛=山縣) → 2票  
コロナウィルス対策による自粛のため、街の賑わいは消えたところが多いです。ここは暫く我慢に我慢を重ねるしかありませんね。
- \* 24. 禍福とはコロナ嬢との水入らず (火酒=三春) → 4票  
「禍福」と「コロナ嬢」が良く響き合っていますね。アメリカではメキシコ産コロナビールの栓を抜き、そのまま瓶から飲むのが恰好良いとされていましたが、このビール今は生産停止だそうです。
- \* 25. 面倒は水に流してもう一杯 (損得=細谷) → 4票  
酒を飲むとすべての憂さを忘れて仕切り直しというのは良くありますね。これは対面で向かい合うしかありませんね。横並びでは雰囲気はできません。早くできるようになってほしいです。
- \* 26. コロナさまおかげで一家水入らず (酔雅=西川) → 5票  
作者によると、「水入らず」とは言え「後期高齢者の連れ合いと日がな二人だけで過ごすのは……」と本音が出ています。今回は24番とともに「水入らず」が2句優秀句に選ばれました。
- \* 27. 水道水いつの間にやらフランス製 (だし=大野) → 4票  
フランスには圧倒的に強い水メジャーがいます。作者は、日本に進出して、運営を任せた途端、水道水の値が上がり消費者の負担が増えたところもあると嘆いています。
28. 億ションもゲリラ豪雨で水浸し (井波=稲宮) → 2票  
昨年大雨でタワーマンションでも水没したところがあったようです。特に電源装置が浸水したところは、エレベーターも止まり大変だったとの報道もありました。億ションなのに……。

投句 14 名 = 岩崎洋一郎 (不言)、大野ただし (だし)、曾山清徳 (酩帝)、 細谷博 (損得)、  
西川武彦 (酔雅)、浜田道雄 (我々好)、稲宮健一 (井波)、山縣正靖 (安兵衛)、  
松谷隆 (零門)、安藤晃二 (晃二)、平尾富男 (酔深)、塚田實 (拿々)  
三春 (火酒)、八木信男 (明迷)

投票 13 名 棄権 1 名

5 月以降の予定とお題 : 5 月 25 日 (月) 「歩く・歩む」

6 月 23 日 (火) 「風」

7 月 27 日 (月) 「傘」

8 月 25 日 (火)

9 月 28 日 (月)

10 月 27 日 (火)

11 月 23 日 (月)

12 月 22 日 (火)